

# エシカルバンブー株式会社

## わたしたちは こんな企業(団体)です

竹の洗剤、竹のアウトドアスプレー、竹の箸、竹のタオル等の商品企画・製造・販売を行う企業です。人・自然・生物・地域それぞれを尊重した、誰も何も傷つけない、竹を活かしたエシカルなものづくりを大切にしています。

2020年には宇部市と連携協定を行い、廃校になった中学校の校舎を有効利用し「竹で地域を元気にする」をコンセプトに竹の生態系や歴史、利活用方法などを学べる竹の総合施設「竹ラボ」を運営しています。



## SDGsに取り組むのはなぜ？

“竹害”から“竹財”へ

国産竹に高価値の出口を作り持続可能な使用方法を見出して竹林整備を進めることが、竹害を減らすことや未来に有益な資源として竹を残すことに繋がります。

製造過程において廃液、廃水、廃棄を出さずにオールカスケード利用した完全循環型製造工場を実現し、環境に負荷をかけない当社のこだわりそのものがSDGsと通じます。



## わたしたちのSDGs宣言



エシカルバンブーは「竹」で持続可能な環境循環型の未来を実現します。

成長性の早い竹を害とするのではなく 計画的に使用することで  
100年以上先の未来へ繋げていける  
持続可能で有益な資源として活かしていきます

## SDGs達成のための主な取組

➤竹の伐採・供給者、加工・製造・販売者等が連携して竹資源の有効活用を促進し、森林環境の保全及び産業の振興に向けた取組を進める竹利活用プラットフォーム「YAMAGUCHI Bamboo Mission」を積極的に推進する。

◆取組目標: 国産竹使用量を2023年の670t/月  
➡2030年に1,500t/月まで増やす

➤地域風土や特性を活かした製品づくりを追求し、竹資源そのものの付加価値を高め、地域で持続的に循環するサイクルを形成し地域資源を活かしたエシカルなものづくりを推進する。

◆取組目標: 国産竹ブランド化にあたり2030年までに外国産竹の使用量を5割減らす(2024年比)



YAMAGUCHI  
Bamboo mission



地域企業とのコラボレーション商品